

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	理念作成、理念の持つ意義、大切さを理解する。全体として、今一つ理解されていない。	利用者のより良い生活環境づくりを目指す	スタッフの思いを理念に表わす。そのための意識改革、話し合時間を持つ。職員会での話し合いなど機会を増やし文章化する。	12ヶ月
2	53	デイサービスにおける利用者の帰宅願望、及び外出希望からか、外に居る時間がとても長い。安全は確認しているが、目の届かない面はある。	外(庭)とリビングでの過ごす時間のバランスをとりたい	声かけして、屋内で過ごすことを無理強いはいしない。中で過ごしたくなるように、声かけする。少しでも長く皆さんと過ごせるように、ご本人の興味あるものを見つける。耳が遠いので会話が長く続かないので、補聴器をつけて頂く。共有空間における居場所を作る。仲の良い人と話して頂く。	6ヶ月
3	17	頑固な入浴拒否の方の処遇について、清潔保持が大切であるが、なかなか出来ない。	入浴を楽しもう、週2回の入浴実施。	個別、スタッフの努力。最近入浴に成功する例が出てきている。声かけの工夫に依るものである。諦めない声かけを続ける。夜中や早朝のシャワー浴は素直になって下さるので、これを続ける。少なくとも清拭は行っている(ほぼ、毎日)。	12ヶ月
4	27	介護記録の充実	情報の共有化、適切な介護(寄り添う介護)の実践。ケアプランに反映できる記録。	介護記録の見直し、意識のあり方。研修参加、分かりやすい書き方。介護記録の目的を把握する。書くことが苦痛にならない方法を探す。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。